



2020年5月14日

各 位

上場会社名 昭和鉄工株式会社
 代表者 代表取締役社長 福田 俊仁
 (コード番号 5953 福証)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員 鍋山 敏郎
 (TEL. 092-933-6391)

連結業績予想と実績値の差異および特別損失等の計上に関するお知らせ

2019年5月15日に公表した2020年3月期の連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、特別損失及び特別利益の発生につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異について

(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	350	400	260	319 30
今回修正予想(B)	12,042	320	389	21	25 73
増減額(B-A)	△957	△29	△10	△238	—
増減率(%)	△7.4	△8.3	△2.7	△91.9	—
(ご参考) 前期実績(2019年3月期)	12,338	349	354	259	318 86

2. 差異の理由、特別損失及び特別利益の計上について

2020年3月期通期連結業績は、売上高、営業利益、経常利益については、おおむね前回発表予想通りとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、サーモデバイス機器の熱処理炉の中国における受注案件について、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、得意先のプロジェクトに関連する地方政府の資金協力が一時停止し、製品の納入時期が不透明になりました。そのため、対象となる在庫について、たな卸資産評価損として、第4四半期連結会計期間に232百万円を特別損失として計上することとなりました。

また、当社が保有する投資有価証券のうち、取得価格に比べて時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損を112百万円特別損失として計上しております。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表予想を下回りました。

なお、当社が保有する投資有価証券の一部売却により、特別利益(投資有価証券売却益)80百万円を計上しております。

以 上